

5 本プランにおける数値目標

観光実行プラン 2017 では、国内外からの旅行者数に加え、外国人リピーター数や消費額など質的な面に着目した目標を設定した。

今後、訪都外国人旅行者数 2,500 万人等の高い目標を達成するためには、国・地域ごとの特性を踏まえた効果的な施策を展開していくことが必要である。そのため、観光実行プラン 2018 では、施策の対象となる国・地域を特性に応じて分類し、「欧米豪」「東アジア」「東南アジア+インド」の3つの市場について新たに旅行者数の目標設定を行う。

訪都外国人旅行者数の市場別目標

訪都外国人旅行者数 2016年:1,310万人 → 2020年:2,500万人

欧米豪市場

2016年:259万人

2020年:500万人

2016年の約2倍に当たる500万人を目指す。

東アジア市場

2016年:822万人

2020年:1,550万人

2016年の約1.9倍に当たる1,550万人を目指す。

東南アジア +インド市場

2016年:173万人

2020年:370万人

2016年の約2.1倍に当たる370万人を目指す。

(参考) その他

2016年:56万人

2020年:80万人

(注) 訪都外国人旅行者数の市場別内訳は東京都産業労働局観光部による推計。

- 欧米豪 : 英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、米国、カナダ、オーストラリア
- 東アジア : 韓国、台湾、香港、中国
- 東南アジア+インド : タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド
- その他には上記以外の国・地域が含まれる。

総合目標

訪都外国人旅行者数

- 2020年には、2015年の約2倍に当たる2,500万人を目指す。
- 2024年には、3,000万人を目指す。

2015年：1,189万人



2016年：1,310万人



2020年：**2,500万人**

2024年：**3,000万人**

2015年		2016年		2020年	
欧米豪	219万人	259万人	欧米豪	500万人	
東アジア	755万人	822万人	東アジア	1,550万人	
東南アジア +インド	161万人	173万人	東南アジア +インド	370万人	
その他	54万人	56万人	その他	80万人	

(注) 訪都外国人旅行者数の市場別内訳は東京都産業労働局観光部による推計。

外国人リピーター数

- 訪都外国人旅行者数(目標値)の60%を目指す。

2020年：**1,500万人**

2024年：**1,800万人**

訪都外国人消費額

- 2020年には、2015年の約2.4倍(過去5年間の伸び率)に当たる2.7兆円を目指す。

2015年：1兆1,150億円



2016年：1兆880億円



2020年：**2兆7,000億円**

訪都国内旅行者数

- 2020年には、新たなレベルとなる6億人を目指す。

2015年：5億1,670万人



2016年：5億1,430万人



2020年：**6億人**

訪都国内旅行者消費額

- 2020年には、2015年比で約1兆円増の6兆円を目指す。

2015年：4兆8,470億円



2016年：4兆6,017億円



2020年：**6兆円**

政策目標

政策目標		目標年次	目標値	実績値
観光案内の充実	広域的な観光案内機能を担う拠点の整備	2019年度	外国人旅行者が多く訪れる10地域(※1)及び東京2020大会会場周辺	4地域 (2016年度末)
	「街なか観光案内」の展開	2019年度		
	観光案内窓口の拡充・機能強化	2019年度	外国人旅行者が多く訪れる10地域内に200か所程度	42か所 (2016年度末)
	新たな観光情報センター(多摩)の整備	2017年度	1か所	1か所(完了) (2017年6月)
デジタルサイネージの設置(※2)		2019年度	150基程度	19基 (2017年末)
観光案内サインの設置		2019年度	600基程度	138基 (2016年度末)
外国人旅行者の無料Wi-Fi利用環境に対する満足度		2020年	90%以上に向上	71.2% (2017年)
無料Wi-Fi利用環境の向上	Wi-Fiアンテナの設置(※3)	2019年度	700か所	101か所 (2016年度末)
ボランティアの育成・活用	観光ボランティアの活用	2020年	3,000人	2,496人 (2016年度末)
	おもてなし親善大使の育成	2020年	1,000人	562人 (2016年度末)
アクセシブル・ツーリズムの充実	宿泊施設のバリアフリー化支援(※4)	2019年度	150件 (2017年度から2019年度まで)	—
	都の支援による観光バス等のバリアフリー化	2019年度	50台	18台(※5) (2016年度末)
国際会議の開催件数		2024年	世界トップスリーに入る330件	6位・225件 (2016年)

(※1) 外国人旅行者が多く訪れる10地域 (「外国人旅行者の受入環境整備方針」に基づく)・・・新宿・大久保、銀座、浅草、渋谷、東京駅周辺・丸の内・日本橋、秋葉原、上野、原宿・表参道・青山、お台場、六本木・赤坂

(※2) 設置場所を屋外の歩行空間に加えて屋内にも拡大し、様々な場所で観光情報をストレスなく入手できる体制を整備するため、目標値を上方修正した。なお、実績値は歩行空間での設置数。

(※3) 旅行者に無料Wi-Fiが利用できる場所をよりわかりやすく示すため、目標値の表記を昨年度のアンテナの設置基数からWi-Fiが利用可能なエリア(か所数)に見直した。

(※4) 東京2020大会に向け、宿泊施設のバリアフリー化をより一層推進するため、目標値を見直した。

(※5) リフト付観光バス車両の台数